家　庭　用
浴室内設置専用

スーパークリーンバスシステム

未来夢

MS－2101 J

取扱説明書

（設置工事説明書・保証書付）

このたびは、24時間温水浄化スーパークリーンシステム“未来夢”をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

みらいむ

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめてお受け取りください。
- 設置工事説明書に従った正しい工事を行なってください。
- 取扱説明書、設置工事説明書の記載通りに使用および設置をされなかった場合の製品の故障、事故については当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

’03.11

みらいむ

未来夢

目　次

1 安全上のご注意…… 1

2 各部の名称…… 5

3 使い方…… 9

◆運転の手順
◆本体の停止手順
◆温度調節のしかた
◆本体の自動熱洗浄について
◆ヒーター停止について
◆浴水の浄化について
◆経済的なご使用方法

4 お手入れ…… 15

◆日常のお手入れ
◆トップフィルターの洗浄
◆トップフィルターケースの掃除
◆泡出しユニット吸込み口の掃除
◆ヌメリの除去
◆ろ材の手洗浄
◆本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄
◆風呂釜の洗浄
◆紫外線ランプの交換
◆漏電保護プラグの点検方法
◆浴槽のお湯を入れ替えるときには

5 お知らせ…… 23

◆浴水が濁ったり、臭いがあるとき
◆故障かなと思ったとき
◆本体の異常表示と処置
◆長期間お使いにならないときには

6 仕　様…… 27

7 アフタアーサービスについて…… 28

設置工事説明書…… 29
安全上のご注意…… 30
設置の方法…… 34
電源コード、アース線の取り付け…… 37

1 安全上のご注意

★ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を『警告』『注意』の2つに区分しています。

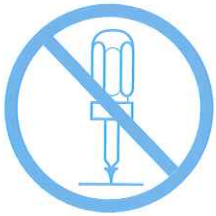
⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

★いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示の例

△記号は、**警告・注意**を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

（例） ⚠ 一般的な注意



⃠記号は**禁止の行為**であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

（例） ⃠ 一般的な使用禁止

●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください）が描かれています。

（例） ❗ 一般的な指示　⏚ 必ずアースを接続せよ

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

感電・火災の恐れあり

◆お客様ご自身での工事はしない。
※本体の設置及び移設についてはお買い求めの販売店またはお客様相談室（P. 28参照）に依頼してください。

◆電源コンセントは浴室内及び屋外コンセントを使用しない。

◆工事後のお客様ご自身による変更工事はしない。

◆電源コンセントは、他の器具と併用しない。
※定格15 A以上の電源コンセントに単独で直接、接続してください。延長コードや三叉コンセントなどは使用しないでください。

◆漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。
※漏電保護プラグは、コードを下向きにして、確実に電源コンセントに差し込んでください。

◆差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。

◆漏電保護プラグや電源コンセントに、湿気やほこりを近づけない。
※時々、漏電保護プラグや電源コンセントを乾いた布で拭いてください。

◆本体に異常が発見された場合は使用しない。
※漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店またはお客様相談室（P. 28参照）へご連絡ください。

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。

◆漏電保護プラグはコードを持って引き抜かない。

◆水道管、ガス管等にアースを接続しない。
※ご使用前にアースの接続を確認してください。

◆本体を浴槽中に落としたときは、浴水にさわらない。
※漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて本体を引き上げ、販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご相談ください。
落とした本体は絶対に使用しないでください。

◆本体を分解・改造・修理しない。

ケガなどの恐れあり

◆風呂ふたの上に手をついたり、乗ったりしない。
※特に小さなお子様は、浴槽に落ちる恐れがあります。

◆湯かげんを確認せずに入浴しない。
※ヤケドの恐れがあります。

⚠ 注意

感電・火災の恐れあり

◆浴水を確認しないで追い焚きしない。
※浴水が満たされていることを確認してください。
◆２日以上留守にする場合は、本体を運転しない。
※漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
◆雷が鳴っている場合は、運転しない。
※漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
◆長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所（浴室等）に放置しない。
◆本体に直接水やお湯をかけない。
◆漏電保護プラグは、浴室や水がかかるところに設置しない。

ケガなどの恐れあり

◆泡出しユニットの吸込口に手や足を近づけない。
◆運転中には浴槽内には潜らないでください。吸入口に毛髪が吸込まれる恐れがあります。
◆吸入口のカバー等が緩んだ状態又は外れた状態で運転しないでください。
◆お子様の入浴には十分注意してください。
◆本体の上に乗ったり、モノを置いたり、押したり引っ張ったりしない。
◆浴水は飲まない。
◆皮膚に異常（湿疹・かゆみなど）を感じた場合やその他疾患がある方は、使用しない。
※専門医に相談してください。
◆紫外線ランプの光を直視しない。

体調を損なう恐れあり

◆体調がすぐれないときは、泡出しユニットの泡出しつまみを閉にしてください。
※気分が悪くなったり、体調をくずす恐れがあります。
医師に治療を受けている方、極度に身体が弱っている方や乳幼児は避けてください。
◆気泡を目や耳に直接当てたり、噴流を身体の同じ部分に当て続けない。
※炎症やかゆみなどをおこす恐れがあります。
◆入浴前に、かけ湯してから入浴する。
※身体に付着した土ぼこりなどをなるべく浴水中に持ち込まないようにしてください。
◆「日常のお手入れ」（P. 15参照）に従って、正しくお手入れを行なう。
※細菌が異常に増殖する恐れがあります。

24時間風呂を衛生的にお使いいただくために

⚠ 注 意

◆「日常のお手入れ」（P. 15参照）に従って、正しくお手入れを行なう。
細菌が異常に増殖する恐れがあります。

◆入浴前に、かけ湯してから入浴する。
身体に付着した土ぼこりなどをなるべく浴水中に持ち込まないようにしてください。

◆身体を洗った後のかけ湯には、浴水を使ってください。
浴水が減った分、足し湯を行なうことにより、お湯の交換を促すことになります。

快適にお使いいただくために

◆本体は、シンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

◆水道水を使用してください。
井戸水や温泉水などを使用すると故障の原因となります。

◆砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので取り除いてください。

◆入浴剤、石鹸、シャンプー、ゆず、薬草などを浴槽に入れないでください。
本体や浄化に悪影響を及ぼします。誤って入れた場合は、浴水を入れ替えてください。
（P. 22参照）
※24時間風呂専用入浴剤は使用可、販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にお問い合わせください。

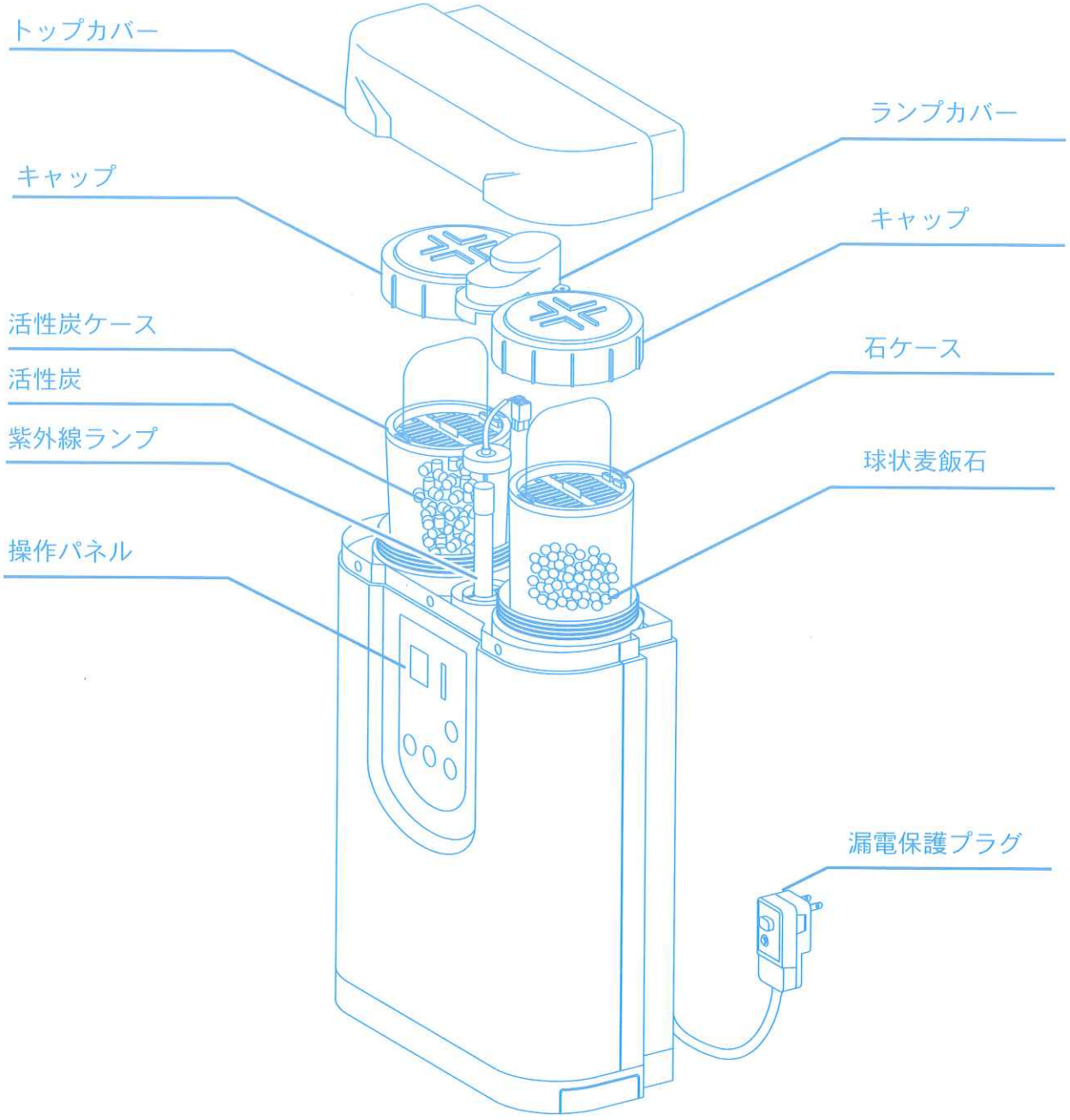
レジオネラ属菌について

レジオネラ属菌とは、世界各地の土壌や淡水（河川・湖）に生息している菌であり、現在我々の身の回りの様々なところ（冷却塔、給湯設備、天然温泉など）で存在が確認されています。

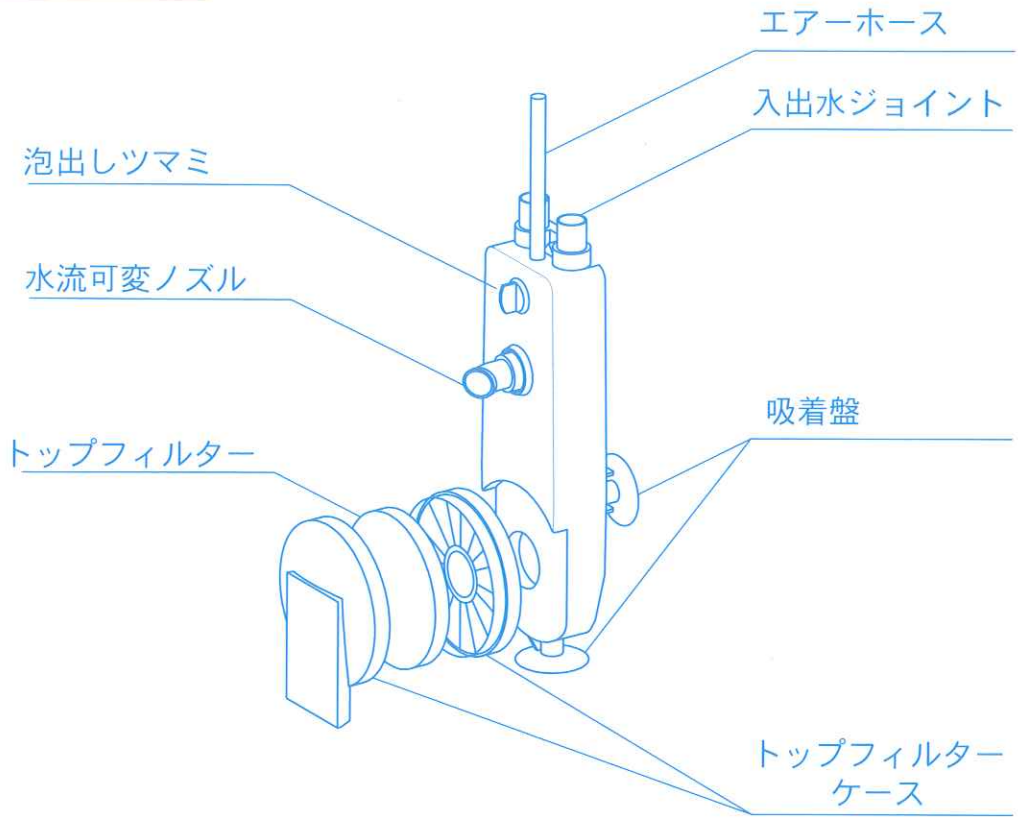
また、健康な方がレジオネラ肺炎を発症することはまれで、免疫力の低下した方がレジオネラ属菌を肺に吸い込むことにより、レジオネラ肺炎を起こすことがある日和見感染菌のひとつとしてしられています。

2 各部の名称

本体

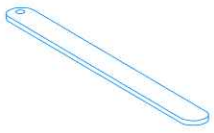

トップカバー
ランプカバー
キャップ
キャップ
活性炭ケース
活性炭
紫外線ランプ
石ケース
球状麦飯石
操作パネル
漏電保護プラグ

泡出しユニット



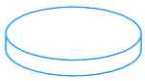
付　属　品

（設置工事時に使用した部品はのぞく。設置工事説明書表紙参照）



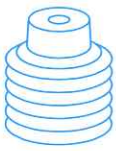
キャップスパナ

本体のバスケットキャップの取付取外しに使用します。



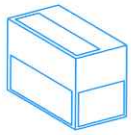
トップフィルター(2枚)

髪の毛など目に見えるゴミの除去を行います。毎日手洗いしてください。



通水ポンプ

呼び水のときに使用してください。



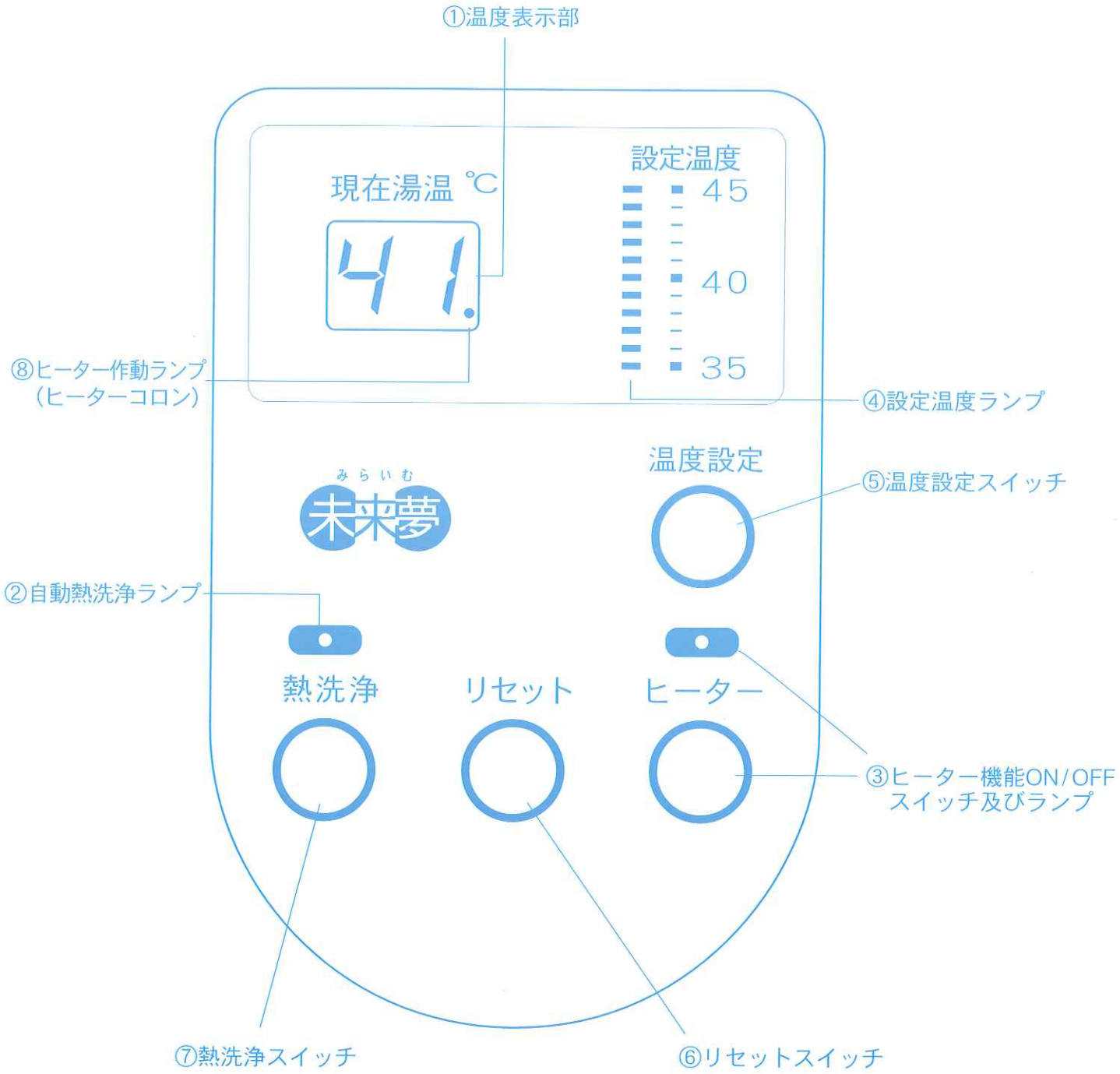
風呂水清浄剤(2箱)

１０日に１度１錠浴槽に投入してください。

●取扱説明書（設置工事説明書および保証書付）

●注意エラー表示処置方法シール（設置工事時に工事店が本体正面等に貼り付けます。）

操作パネル表示


①温度表示部
現在湯温 ℃
41.
設定温度
45
40
35
⑧ヒーター作動ランプ
（ヒーターコロン）
④設定温度ランプ
温度設定
⑤温度設定スイッチ
みらいむ
未来夢
②自動熱洗浄ランプ
熱洗浄
リセット
ヒーター
③ヒーター機能ON/OFF
スイッチ及びランプ
⑦熱洗浄スイッチ
⑥リセットスイッチ

☆表示部の説明☆

①温度表示部…… 現在の浴水温度の表示、自動熱洗浄時の「ＣＬ」表示及び本体異常時エラー内容の表示をします。（P.25参照）

②熱洗浄ランプ…… 自動熱洗浄機能が設定されている場合点灯します。（通常は、自動熱洗浄機能が設定されているので点灯します）（P.11参照）

③ヒーター機能 ON / OFFスイッチ及びランプ…… ヒーターの機能を入・切します。入の場合スイッチ上部ランプ点灯。（P.12参照）
※ヒーター機能をOFFする時はこのスイッチを３秒押します。ONする時は1秒押し復活します。

④設定温度ランプ…… 浴水の設定温度を表示します。

⑤温度設定スイッチ…… 浴水の温度を35℃～45℃の間で設定します。（1℃単位）
※下げる場合は1度45℃まで上げて頂きもう1度押すと35℃に下がります。

⑥リセットスイッチ…… Ｅ3停止の時1度押すと解除され再スタートを開始します。

⑦熱洗浄スイッチ…… 連続して３秒間押した場合、強制的に本体の熱洗浄が開始されます。（P.11参照）
※熱洗浄中に押すと熱洗浄が解除され排水後通常運転に戻ります。

⑧ヒーター作動ランプ（ヒーターコロン）…… ヒーター機能が働いている場合に現在湯温表示部右下に点灯します。（通常は、消灯しています）

3 使い方

運転の手順

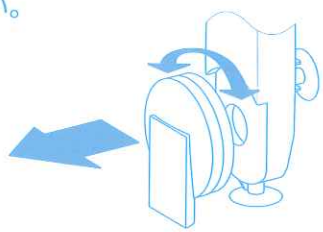
⑴浴槽のお湯が泡出しユニットの出水口より上部にある事を確認してください。

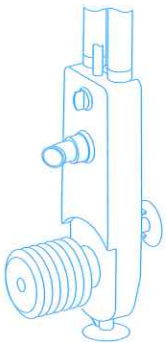
⑵左右のバスケットキャップをしっかり締めてください。

⑶トップフィルターケースを外してください。

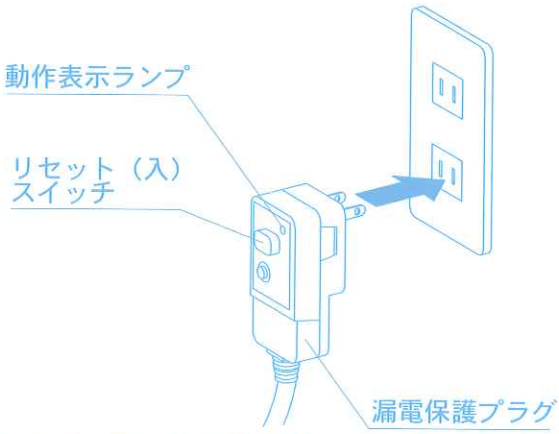
⑷通水ポンプを入水口に差込んでください。

通水ポンプを浴槽に沈め、通水ポンプ内の空気を抜いてから、入水口に差込んでください。





⑸漏電保護プラグをコードを下向けにして電源コンセントに差込んでください。
本体のポンプの運転が開始されます。

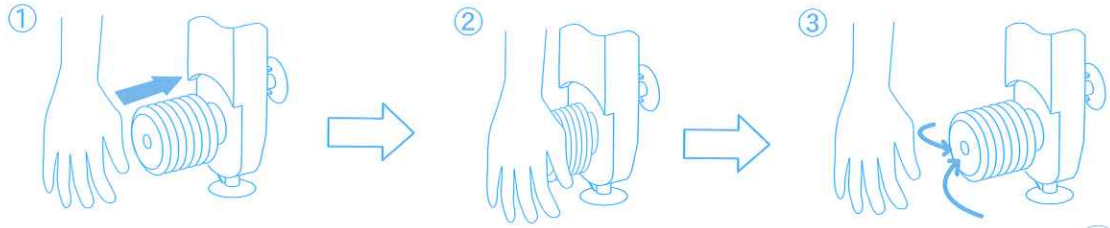


⚠ 警告

- ◆コードを上向きにして漏電保護プラグを差し込まない。
- ◆延長コードや三叉コンセントなどを使用しない。
- ◆差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない
  火災の原因になります。

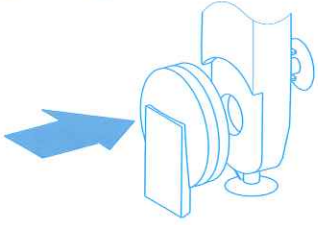
⑹通水ポンプでお湯を送込んでください。

下図のように通水ポンプの穴に手のひらを当て、充分に押し付けてお湯を送り込み、手を離してください。出水口からお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返してください。



⑺水流可変ノズルよりお湯が勢いよく流れ出したら運転開始です。

⑻トップフィルターケースを取付けてください。



◆本体の温度表示部にＥ3の点滅表示が出た場合は、再度呼び水を行い操作パネルの[リセットスイッチ]を押してください。

お知らせ

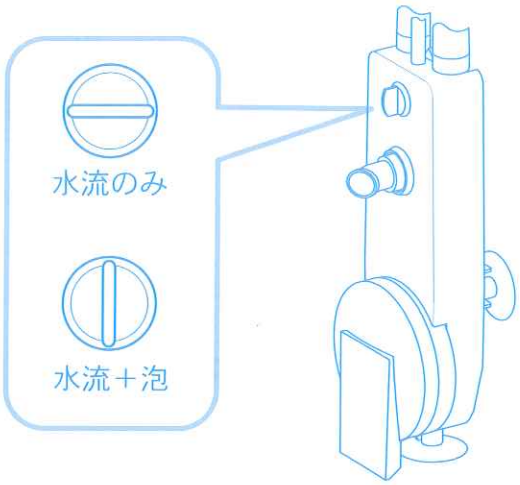
ポンプの運転開始時にやや大きな音がすることがありますが、運転開始後音が止まれば異常ではありません。これは本体ポンプ内にお湯が完全に入っていないために起こる現象です。

⑸水流可変ノズルよりお湯が勢いよく流れ出したら運転開始です。

お願い

トップフィルターセットを外したまま使用しないでください。
故障の原因になります。

⑹泡出しユニットの泡出しツマミを、縦にすると、泡を出すことができます。



本体の停止手順

漏電保護プラグを電源コンセントから抜きます。

⚠ 警告

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。

以上で本体の停止は終了ですが、長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときには」（P.26）を参照の上、お手入れを行なってください。

温度調節のしかた

⑴設定温度の上げ方

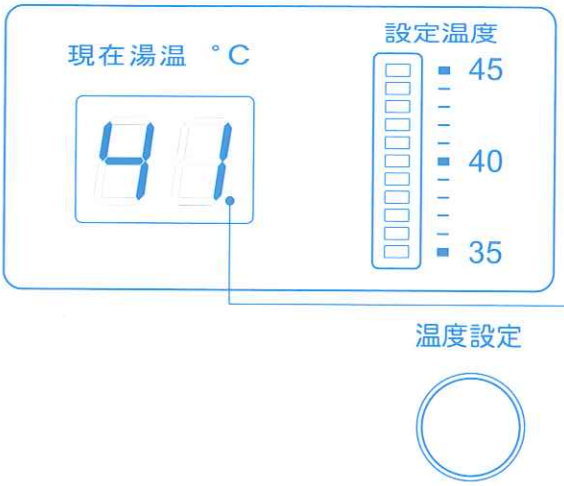
〔温度設定スイッチ〕を1回押します。スイッチを1回押すごとに1℃上がります。

⑵設定温度の下げ方

〔温度設定スイッチ〕を押し、いったん45℃迄上げてください。さらにスイッチを押すと35℃になります。お好みの設定温度までスイッチを押してください。

お知らせ

本体は浴槽下部の湯温を常に表示しています。水を補給した場合など一時的に、表示温度が下がることがあります。また、ホースの長さ及び設置条件により、湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。



○左端の温度表示部には、現在の湯温が表示されます。

○設定できる温度は35～45℃です。

温度表示部右下の赤ランプが点灯しているときは、ヒーターが加温中です。

本体の自動熱洗浄について

本機は、浄化機能を衛生的に管理するため、10日おきに自動で本体を熱洗浄されるように設定されています。

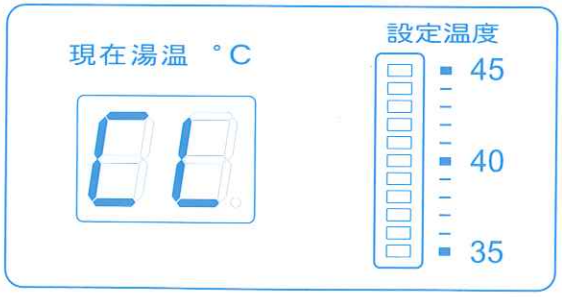
熱洗浄とは、①ろ材に付着している汚れを落とす。

②本体内部のみを約60℃の高温にする。

の2項目を連続して行ない、浴水の浄化を衛生的に管理する機能です。

◆自動熱洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。10日ごとにその時刻になると自動的に熱洗浄を開始します。

◆自動熱洗浄の開始時刻を変更したい場合（入浴時間を避けて行なわせたい場合など）には、変更したい時刻に、熱洗浄スイッチを３秒間押すと、次回からは10日ごとにこの時刻に熱洗浄が自動的に開始します。



［自動熱洗浄時］

現在の湯温表示がＣＬになります。

お願い

◆自動熱洗浄時刻は、入浴時間外に設定してください。
自動熱洗浄は、40分程度がかかります。その間、浴水は循環されません。
◆自動熱洗浄が終了すると自動的に浄化運転状態に復帰しますが、その前に約60℃のお湯が排水口より間欠的に出てくるのでご注意ください。
◆排水ホースが接続されていることを確認してください。
◆熱洗浄中は、熱洗浄スイッチを押すと熱洗浄が解除されます。
◆強制的な熱洗浄を頻繁に行なうと浄化を損なう恐れがあります。
◆自動熱洗浄は、お湯を約20ℓ程度使用しますので、減った分だけ給湯または給水してください。

ヒーター停止について

⑴ヒーターの機能を停止したいとき

操作パネルの〔ヒーターON/OFFスイッチ〕を３秒間押し続けます。
◆このとき、「ヒーターON表示ランプ」が消灯し、現在湯温が設定温度より低い場合でもヒーターによる加温を行ないません。

お知らせ

〔ヒーターON/OFFスイッチ〕により、ヒーター機能を停止させても本体のポンプの運転は停止しませんので引き続き浴水の浄化は行なわれます。

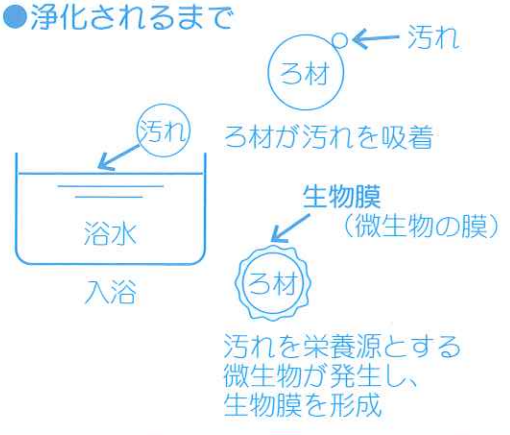
⑵ヒーター機能をONに戻すとき

操作パネルの〔ヒーターON/OFFスイッチ〕をもう1度押します。
◆このとき、「ヒーターON表示ランプ」が点灯し、湯温を設定温度に保つようヒーターがON/OFFを繰り返します。

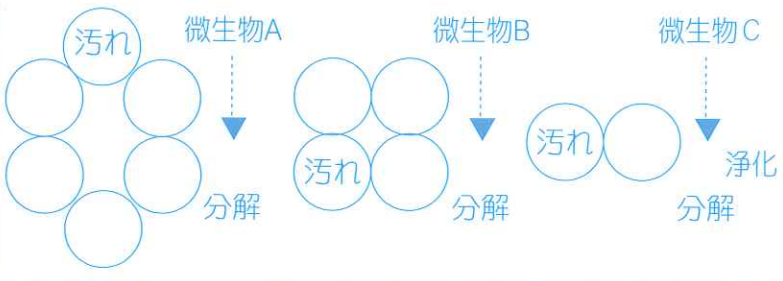
浴水の浄化について

浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物の膜によって浄化されます。そのため、ろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成されるまでの間は、浄化がうまく行なわれていないことがあります。通常この膜が形成されるまで1～2週間かかりますので浴水が濁ったり、臭いがある場合は、浴水を交換してください。（P. 15参照）

●浄化されるまで

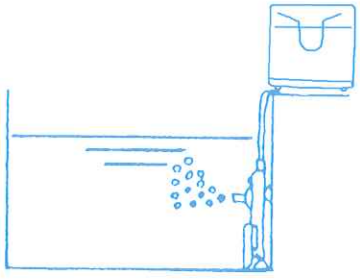


●生物膜の中では



●生物膜の中では、何種類もの微生物が、それぞれ自分の分担の汚れを分解して、最終的に汚れが分解されます。

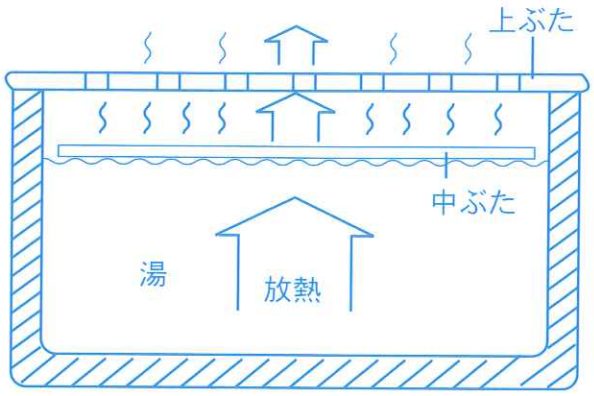
☆生物膜を早く形成させるには☆

どうする？	どうして？
◆汚れを落としてから入浴する。 ◆浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さない。 ◆濁った場合は浴水を交換する。	汚れが多すぎるとある特定の微生物が多くなったり、環境が悪くなったりして、必要な微生物がなかなか生育できません。 汚れを少なくするため、最初のうちは、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。 （P. 15参照）
◆最初の10日間は濁ってもろ材を洗わない。 ◆強制的に熱洗浄しない。	ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されてきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。 濁ったり、臭いがある場合は、浴水の交換をしてください。 （P. 15参照）
◆入浴時以外でも泡出しユニットの水流可変ノズルから泡を出す。 	浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、特に最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を送り込むことで微生物の育成を促します。

経済的なご使用方法

次のことを実施すると、電気料金の節約になります。

◆浴槽の湯面に、中ぶたを浮かし、その上に上ぶたをすると、湯面からの放熱を減らすことができます。（浄化が確認されたとき）



◆風呂釜を併用されている場合、逆流防止弁（別売品）を取付けると風呂釜からの放熱を減らすことができます。

◆浴水を入れるときや足し湯するときは、お湯を入れてください。ヒーターの通電時間を短くすることができます。

◆水流可変ノズルより泡を出すとお湯が冷えやすいため、必要ない時（浄化がうまく行なわれており、誰も入浴していない時）は、泡を止めておいてください。ヒーターの通電時間を短くし、電気代が節約できます。

4 お手入れ

日常のお手入れ

⚠ 注 意

◆下記の「日常のお手入れ」に従って、正しくお手入れを行なう。
細菌が異常に増殖する恐れがあります。

お手入れの種類	お手入れの頻度	参照ページ
トップフィルターの洗浄	毎日行なってください。	P.16
トップフィルターの交換	6ヵ月または破損時	P.16
風呂水清浄剤(ふろ水ワンダー)	10日に1回（浴槽に投入）	
トップフィルターケースの掃除	詰まり確認時	P.16
泡出しユニット吸込み口の掃除	詰まり確認または浴水交換時	P.17
ヌメリの除去	毎日行なってください。	P.17
本体の自動熱洗浄	10日に1回	P.11
ろ材の手洗浄	本体、泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行なってください。（3～6ヵ月に1回）	P.17
本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄	3～6ヵ月に1回	P.19～20
風呂釜の洗浄	風呂釜をお使いの方は、本体、泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行なってください。(3～6ヵ月に1回)	P.21
紫外線ランプの交換	1年に1回	P.21
漏電保護プラグの点検	1ヵ月に1回	P.22
浴水の交換	1ヵ月に1回 ※浴水が濁ったり、臭いが発生した場合は、そのつど浴水を交換してください。	P.22

※ただし、毎日の入浴回数・人数や汚れの量などによりそれぞれのお手入れの頻度が短くなる場合があります。

〔有料メンテナンスサービス〕
※上記の日常のお手入れを行えない場合は、保証期間内でも有料で承りますので、販売店及びお客様相談室にご相談ください。

お願い

◆本体内に汚れが付着し、水流が弱くなったまま使い続けますと、故障及び浄化不良の原因になりますので、必ず定期的に洗浄などのお手入れをしてください。

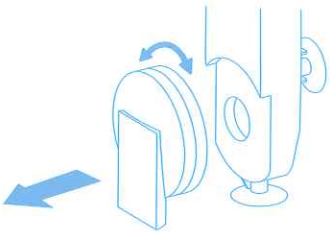
トップフィルターの洗浄

◆泡出しユニットのトップフィルターは、1日に1回（入浴時にでも）洗浄してください。
トップフィルターは6ヵ月ごとまたは破損時に交換してください。

⑴トップフィルターケースを少し回転させながら取り外し、浴槽外へ出します。

お願い

◆浴水中に大きなゴミなどがないことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

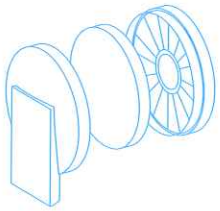


⑵トップフィルターセットからトップフィルターを取り出し、洗面器などにお湯を入れもみ洗いします。

⑶トップフィルターをセットします。

●次のような状態になったときは、トップフィルターに原因していることがあります。ていねいに洗浄しなおすか、またはトップフィルターを交換してください。

◆水流可変ノズルからの気泡の噴出が弱まった場合
◆浴水の濁りや臭いが進行した場合
◆ポンプが自然に停止する場合
◆温度が上がらない場合
◆本体から大きな音がする場合



もみ洗い

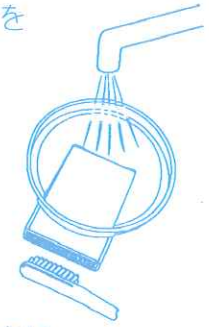
トップフィルターケースの掃除

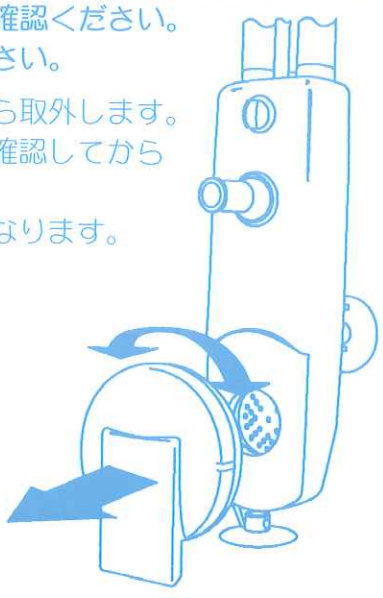
循環量（水流）が弱くなった場合や「E3」表示で本体が停止してしまった場合、トップフィルターケースの吸込み口や泡出しユニットの吸込み口につまりがないかご確認ください。
つまり等が確認された場合、以下の要領でつまりを取り除いてください。

①泡出しユニットからトップフィルターケースを少し回転させながら取外します。

●トップフィルターの取外しは、浴槽中に大きなゴミが無いことを確認してから行ってください。
トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

②トップフィルターケースの吸込み口をブラシなどで掃除してください。



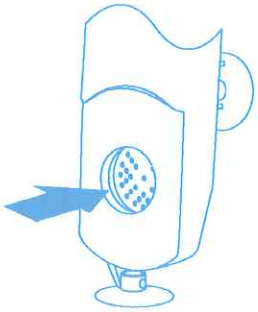


③トップフィルターをセットしてください。

泡出しユニット吸込み口の掃除

浴水交換時またはつまり等が確認された場合、以下の要領で掃除を実施してください。

①泡出しユニットからトップフィルターケースを少し回転させながら取外します。
②泡出しユニットの吸込み口をブラシなどで掃除してください。
③トップフィルターケースをセットしてください。



⚠ 注 意

◆トップフィルターケースを外したままで、運転しないでください。
※髪や体が吸い寄せられてケガをしたり、故障の原因となります。

ヌメリの除去

◆浴槽内面に付着したヌメリや汚れは、1日1回タオルやスポンジなどで拭いてください。
浴水中に落ちた汚れはトップフィルターなどで除去されます。

ろ材の手洗浄

ろ材の手洗浄手順

お願い

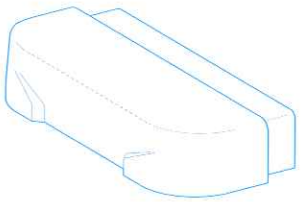
◆ろ材の手洗浄は風呂場などで行なってください。
ろ材に付着したヌメリなどで周囲が汚れます。

①漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

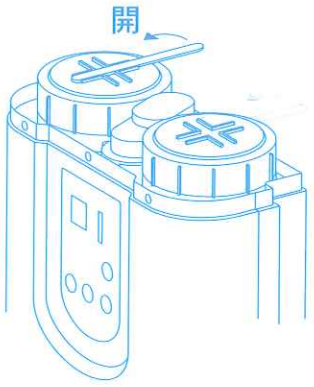
◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。

②トップカバーを外して、付属のキャップスパナで浄化筒A・B両方のキャップを左に回して外してください。

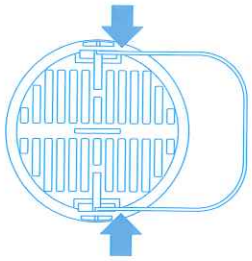


⚠ 注 意

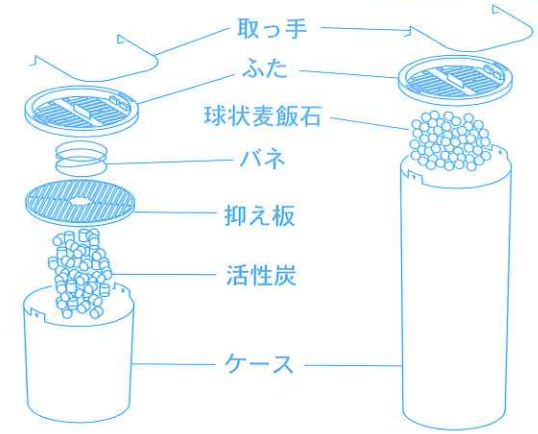
◆キャップスパナをすべらせてケガをしない。

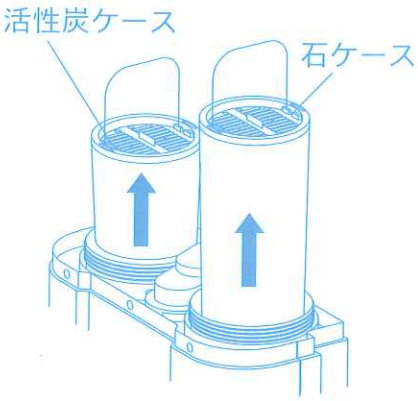


③石ケースと活性炭ケースを本体から取り出してください。
④取り出した各ケースのバスケットふたをおさえている取っ手を矢印の方向に押しながら外しふたを取り外します。
⑤各ケースからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。
⑥ろ材を残り湯などのぬるま湯を用い、手で軽く2~3回洗ってください。
⑦洗い終わったろ材を各ケースに戻します。



ろ材ケースの構造

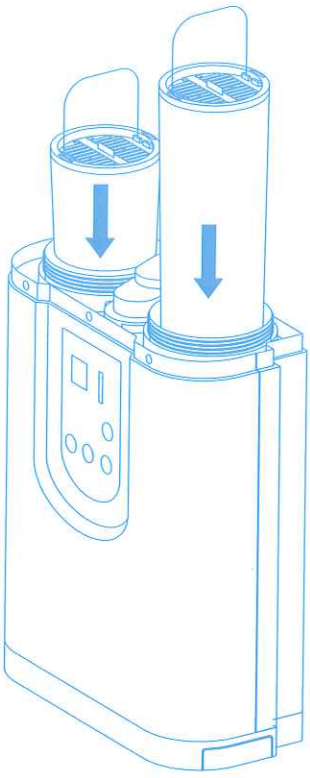




⚠ 注 意

◆石ケースは約2.0kgあるので、落としてケガをしない。

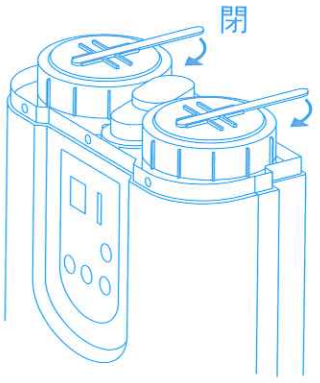
⑧各ケースふたと取っ手を取り付けます。
⑨各ケースの上からぬるま湯を注いでください。ろ材に付着している余分な汚れをすすぎます。
⑩各ケースを底から本体に挿入します。
各ケースを奥までセットしたところで少し回転させます。本体側浄化筒の上部水抜け口からバスケットが出ないようにします。
※上部水抜け口がふさがっていると水流が弱くなるか、運転停止（E3）します。
⑪キャップを締めてください。
キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。



お知らせ

キャップがしっかり締まっていないと水漏れし、故障の原因になります。（P. 24参照）

⑫トップカバーを元通り取り付けてください。
⑬漏電保護プラグを差し込めば、浴槽内のお湯が循環を始め運転開始となります。
●運転を再開しても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、呼び水（P. 9～10参照）を行なってから運転してください。



本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄

あらかじめ準備するもの

- ●24時間風呂専用洗浄剤＊1
- ●ホース（１ｍ程度）＊2

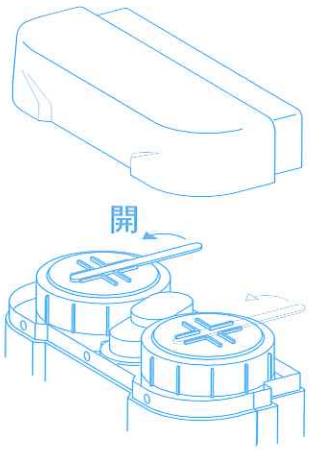
＊1　24時間風呂専用洗浄剤：販売店またはお客様相談室（P. 28参照）へご注文ください。使用の際は洗浄剤の注意書をよく読んでご使用ください。

＊2　ホースは設置工事の際に残ったものを使います。ない場合は、内径18㎜の市販のホースをお買い求めください。

⚠ 注意

◆中性または弱アルカリ性以外の洗浄剤は使わない
本体やバランス釜などの故障、浴槽の変色・ヒビの原因になります。

①漏電保護プラグを抜き運転を停止し、石ケースと活性炭ケースを抜いてください。（P.17参照）



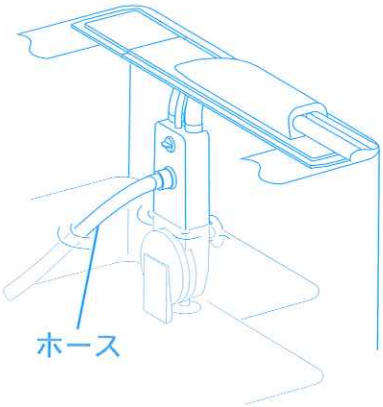
⚠ 警告

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

◆石ケースは約2.0kgあるので、落としてケガをしない。

②各ケースを取り出したまま、元通りキャップを締め、漏電保護プラグを電源コンセントに差し込み、浴水が循環することを確認します。（P. 10参照）
ポンプが停止する場合呼び水（P. 9～10参照）を行なってください。
③運転しながら、浴槽の湯を右図のように、入水口の５cm位上になるまで抜きます。（トップフィルターセットの上部まで）
出水口（水流可変ノズル）にホース（切り残り又は市販のもの）を差し込み、浴水の水面下に入れます。
④トップフィルターケース（トップフィルターを取り外したまま）を取り付けます。

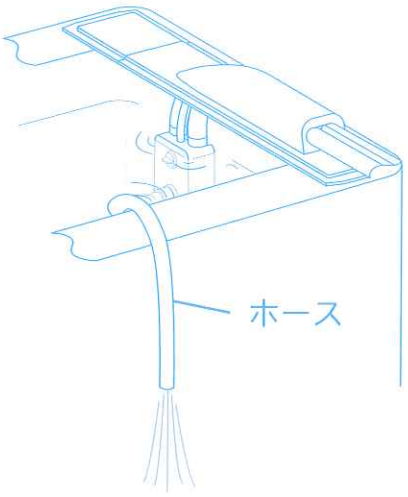


⑤24時間風呂専用洗浄剤約250ｇを洗面器等に入れて、湯でよくかきまぜてから、浴槽内に入れてください。
⑥４時間以上運転します。長時間運転するほど汚れがよく落ちます。できれば一晩運転してください。
⑦運転後、ホース内の汚れが出て、水が濁ります。ここで漏電保護プラグを抜き本体を停止させ、浴槽の水を抜きます。

⚠ 警告

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。

⑧本体の両キャップを外します。（P. 17参照）キャップの裏面をよく水洗いしてください。
また、泡出しユニットの裏面固定吸着盤3ケ所を外し、ブラシなどで汚れを落としてください。
⑨両キャップを取り付け、浴槽に８割程度水を新たに入れて、出水口水流可変ノズルのホースを浴槽外に出します。
漏電保護プラグをコンセントに差し込み本体を運転させ浴槽の水がなくなるまですすぎ運転してください。
※浴槽の水がなくなったら、すすぎ運転完了です。漏電保護プラグを抜き本体を停止させてください。



⑩出水口水流可変ノズルのホースを取り外し泡出しユニット、浴槽を充分にすすぎ洗いします。
⑪すすぎ洗い終了後、バスケットケースとネット入り活性炭をセットして（P. 17～18参照）、浴槽に給湯し、呼び水（P. 9～10参照）を行なってから運転を再開します。

風呂釜の洗浄

風呂釜（バランス釜やガス釜など）は、３ヵ月に１回程度、風呂釜専用洗浄剤などで内部を洗浄してください。

洗浄が不充分な場合、細菌が異常に増殖したり、使用中に浴水が濁ったり、異臭が発生することがあります。

紫外線ランプの交換

紫外線ランプの寿命は約１年となっております。
次の手順で紫外線ランプを交換してください。

⑴紫外線ランプをご購入ください。（お買い求めの販売店）またはお客様相談室へお問合せください。（P.28参照）

⑵漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて運転を停止してください。

⑶トップカバーを外してください。

⑷中央の紫外線ランプカバーを固定しているビス２本をプラスドライバーで外し、紫外線ランプカバーを取り外してください。

⑸右図のように、リード線のコネクターのツメを矢印の方向に押しながら上へ引き上げるとコネクタが外れます。

⑹右図のように紫外線ランプを筒から抜いてください。

⑺新しい紫外線ランプを筒に差し込んで、コネクタを接続してください。

⑻紫外線ランプカバーを取り付けてください。

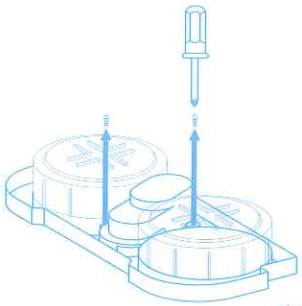
⑼トップカバーを取り付けてください。

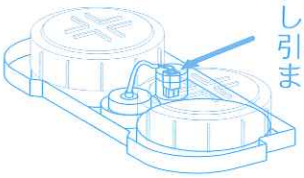
⑽漏電保護プラグを電源コンセントに差込み運転を開始してください。

⑾「運転の手順」に従い、本体を運転させてください。（P.9参照）

⚠ 警告

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。





⚠ 注意

◆紫外線ランプは、ガラス製なので、割ってケガをしない。
◆紫外線ランプの光は直接見ない。
※目を痛める恐れがあります。

漏電保護プラグの点検方法

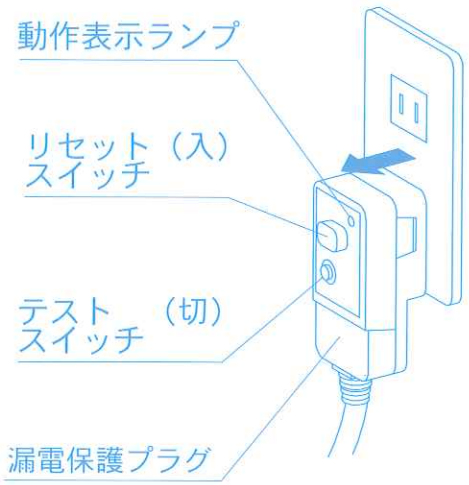
月に1度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

⑴漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま、漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押してください。

⑵動作表示ランプが点灯すれば正常です。
●動作表示ランプが点灯しないようでしたら、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お客様相談室（P. 28参照）へご連絡ください。

⑶漏電保護プラグのリセット（入）ボタンを押し、本体に通電させます。動作表示ランプが消えます。

⑷運転を再開させても、水流可変ノズルからお湯が継続して流出しないときは、「運転の手順」（P. 9参照）に従い、本体を運転させてください



浴槽のお湯を入れ替えるときには

浴水が濁ったり、異臭が発生した場合や、日常のお手入れの際にお湯を入れ替える場合は次の手順で行なってください。

⑴漏電保護プラグを電源コンセントより抜いてください。

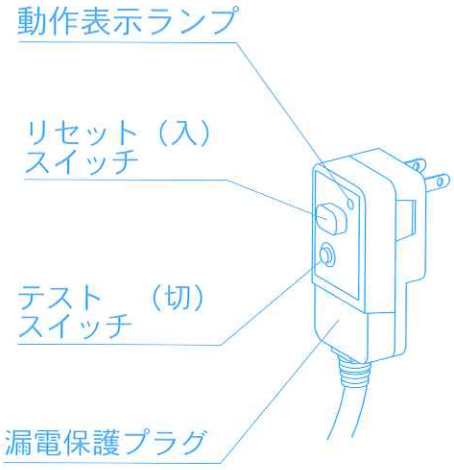
⚠ 警告

◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
※感電・火災・故障の原因になります。

⑵浴槽のお湯をぬいてください。

⑶ジェットノズルが充分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。

⑷漏電保護プラグを差し込めば、浴槽内のお湯が循環を始め運転開始となります。
注）運転を再開させても、水流可変ノズルからお湯が継続して流出しないときは、呼び水(P. 9参照)を行なってから運転させてください。



5 お知らせ

浴水が濁ったり、臭いがあるとき

設置当初、浄化微生物がろ材に付着するまで1~2週間かかります。その間、浴水の浄化が充分に行われませんので、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。（P. 22参照）

点検１ 設置時風呂釜の洗浄をしましたか？

配管内部の汚れが浴水中に出て来る場合がありますので、一度浴槽の水を捨てて、風呂釜内部をよく洗浄してから再度運転させてください。

点検２ トップフィルターを毎日洗っていますか？

トップフィルターの目づまりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。

点検３ 何日間使用しましたか？

設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら、濁った都度水を捨てて、新しいお湯と入れ替えて様子をみてください。（P. 22参照）2～３週間程経過しても、きれいにならないようでしたら販売店、またはお客様相談室（P. 28参照）にご相談ください。

点検４ 追い焚き等での沸かしすぎはありませんか？

50℃以上のお湯が頻繁に本体の内部に入ると、ろ材に付着した微生物が不活発になります。その場合、浴水が濁ることがありますので、浴水が濁りましたら、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行ってください。

点検５ １日にたくさんの人が入浴しませんでしたか？

例えば、毎日使用されている人数より、多くの人が入浴した場合、普段より浄化までに時間がかかることがあります。

点検６ 長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか？

浴水がきれいな状態で数ヵ月使用した後、浴水が濁ってきた場合には、

- ◆トップフィルターの洗浄（P.16参照）
- ◆ろ材の手洗浄（P.17参照）
- ◆本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄（P.19参照）

に従って、洗浄してから再度運転の手順（P.9参照）に従い運転させてください。

※以上の点検でもきれいにならない場合には、販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご相談ください。なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承ります。

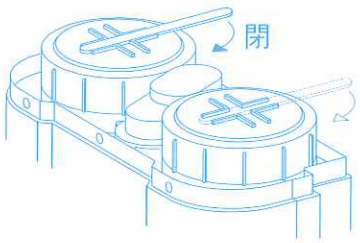
故障かなと思ったとき

Q１　水もれについて

キャップの締め方が悪いと、本体内部から水もれすることがあります。次のような原因が考えられますので、ご確認ください。

①キャップの締め付けが不足している場合

②キャップ裏面のキャップOリングがきちんとセットされていない場合



Q２　湯温が上がらない

①浴槽および浴水表面からの放熱が大きい → きちんとふたをしてください。また、放熱しやすいお風呂（例：タイル風呂、大きな浴槽など）については断熱をきちんと行ってください。また、中ぶたを使用するのも、有効な手段です。（P. 14参照）
改善されない場合は、施行工事業者またはお客様相談室（P. 28参照）へご相談ください。

②循環流量が低下している。 → 循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体、ホースを洗浄してください。（P. 16～20参照）

Q３　設定温度より表示温度が高い

①設定温度より表示温度が１℃高い。 → 本体の温度コントロールは、設定温度より、湯温が１℃低くなるとヒーターが入り、１℃高くなるとヒーターが切れるようになっていますので、１℃高い場合は、特に故障ではありません。

②設置温度より表示温度が２℃以上高い。 → 本体のポンプは、省エネのためポンプから発生した熱が、、浴水に伝わるような構造となっております。そのため、夏場などで、保温性能の良いお風呂では、希にポンプの熱により、湯温が設定温度より高くなることがあります。特に故障ではありません。

Q４　家庭の電流ブレーカーが頻繁に落ちる → 本体の電源容量はＡＣ100Ｖ8Ａです。
ブレーカーが頻繁に落ちる場合は容量オーバーです。
お近くの電力会社にご連絡ください。

Q５　浴槽の一部が茶色く変色した。 → 水道水に含まれている鉄分により浴槽の一部が茶色く変色する場合があります。浴槽メーカーへお問い合わせください。

Q６　チェーンなどのメッキがはがれた。サビた。 → 浴槽内の金属部については、サビる場合があります。
なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

本体の異常表示と処置

表示例	原　因	処　置　方　法
E1	水温センサーの故障	販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
E2	追い焚き、その他による浴水の温度上昇（水温センサー〔51℃〕の作動）	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、しばらくして漏電保護プラグを入れ直してください。作動再開すればそのままご使用ください。再開しないときは、販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
E3	呼び水不足 本体内空気吸入	再度呼び水を行ない〔リセットスイッチ〕を押してください。
	トップフィルターの目づまり	トップフィルターの洗浄を行い、〔リセットスイッチ〕を押してください。
	ろ材、本体、ホースの目づまり	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行なってください。
E4	ヒーターの不動異常	販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
E5	四方弁の異常	販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
E6	ヒータリレー異常	販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
E7	熱洗浄異常	販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに確実に差し込んでください。
	家庭の配線盤のブレーカーの作動	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。
（表示なし）	漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯作動	漏電保護プラグの〔リセットボタン〕を押してください。運転が継続すれば問題有りません。 注：運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので漏電保護プラグをコンセントから抜き販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。

お願い

◆本体に異常が発見された場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店またはお客様相談室（P. 28参照）にご連絡ください。

長期間お使いにならないときには

①漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。

②ろ材は、「ろ材の手洗浄」（P.17参照）に従って洗浄します。その後、天日で乾燥させ保存します。

③本体内部は、「本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄」（P. 19参照）に従って洗浄します。すすぎの終わった後、本体から水を抜きます。キャップは本体内部が乾くまで、あけておいてください。

◆再び使用される際は、運転の手順（P. 9参照）に従って運転させてください。

⚠注意 長期間本体を使用しない場合は、浴室から本機を取り外す。
再運転の際の感電・火災の原因になります。

6 仕　様

■本体仕様

項　　目		仕　　様
本体設置場所		浴室内
外形寸法		５１０×４５０×１８０
本体質量		１５kg（ろ材を含む）
電　　源		ＡＣ１００Ｖ　５０Hz／６０Hz
定格消費電力		８００Ｗ／h
ヒーター消費電力		７００Ｗ／h
殺菌装置		紫外線殺菌灯（４Ｗ）２４時間照射
		管内加熱処理１０日に１度
風呂水清浄剤		次亜塩素酸（ふろ水ワンダー）１０日に１度１粒
浄化方式		生物浄化 （活性炭〈0.4kg〉＋球状麦飯石〈2.0kg〉）
水　　質	濁度	２度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	２５ ppm以下
	大腸菌群	１個以下／mℓ
	レジオネラ属菌	１００ＣＦＵ未満（２４時間風呂協議会自主基準）
水循環（循環量）		自給式ポンプ（２０Ｌ／min）
対応のべ入浴人数		７人／日
対応浴槽容量		４００Ｌ浴槽（浴水３２０Ｌ）
湯温表示		デジタル表示
湯温調節範囲		３５℃～４５℃（１℃毎）、ＯＦＦ
消 耗 品	トップフィルター	６ヵ月または破損時に交換
	紫外線殺菌灯	１２ヵ月に１回交換
	風呂水清浄剤	10日に1粒投入し２箱消化(400日)後市販品をご購入し投入してください
お手入れ	トップフィルター洗浄	毎日
	浴槽ヌメリ除去	毎日
	浴水の入れ替え	１ヵ月に１回
	ろ材の洗浄	３～６ヵ月に１回
	本体、ホースなどの洗浄	３～６ヵ月に１回
安全装置		漏電保護プラグ（感度電流６ｍＡ）
		ヒーター空焚き防止装置（バイメタル＋温度ヒューズ）
		ポンプ空運転防止装置（水流センサー）
		温度制御装置（水温センサー）
		自動洗浄ロック検知
		水温センサー異常検知
		浴水温度過昇検知

7 アフターサービスについて

保証書について

この製品の、保証書は取扱説明書に添付されております。
保証書は、お買上げ後、サービスセンターが所定事項を記入した後にお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証について

保証期間は、お買上げの日から１年間です。ただし、１年以内でも洗浄メンテナンスは有料で承ります。
その他詳細は、保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店、又は下記のお客様相談室にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

補修用性能部品について

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打切り後最低５年間保有しています。性能部品とは、製品の機能を維持するのに必要な部品のことです。

修理を依頼されるときは

「浴水が濁ったり、臭いがあるとき」（P.23参照）「故障かなと思ったとき」（P.24参照）または「本体が停止した場合の異常表示と処置」（P.25参照）をよくご覧のうえ、再度お調べください。それでも調子が悪い場合は漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店または下記お客様相談室にご依頼ください。

ろ材、トップフィルターなどのご購入について

トップフィルター、紫外線ランプ、ろ材などは本体をお買上げの販売店にお問い合わせください。
（ふろ水ワンダーは、市販のものをお買い求めください。）

アフターサービスまたは、お手入れでお困りのときは

その他アフターサービスについてのご不明な点や、お手入れでお困りのときは、下記お客様相談室にご相談ください。お手入れについては、有料にて承ります。

移転などされる場合には必ず下記お客様相談室までご連絡ください。

製造元 株式会社ブライトホームサービス
〒136-0071 東京都江東区亀戸4-18-4
亀戸メディカルビル6階

お客様相談室（フリーダイヤル）
☎ 0120-39-9901
受付時間10:00～17:00 日曜・祝日は除きます）

設置日年月日

販売店名

TEL

取付工事者名

TEL

製造番号

製 造 元　株式会社ブライトホームサービス

〒136-0071　東京都江東区亀戸4-18-4
亀戸メディカルビル6階

発行年月日　2002年１月１日
改定　2003年６月１日
改定　2003年11月１日